

# 恋する川柳物語かわら版



其の三十二 第三十二回 「恋する川柳」—【秋】は梨（話）

ふくらむ川柳編一の応募作品集です。恋する気持ちを詠む

川柳「恋する川柳」秋編のお題は「梨（なし）」、『梨（なし）』

という言葉を句に詠み込むというお約束でしたね。

今年も鳥取に、梨狩りでたくさんの方々が足を運んでくださったみたいですね。この時季になると、連日梨関係のお問い合わせが本当に多くて、連日結構まごつきながらお答えさせて頂いています。ここに勤めてから、いかに自分が地元の農産物のことをよく把握していかか痛感するばかりです。

先日は、「なつひめ」がさっぱり分かりませんでした。同じく新品種の「新甘泉」は食べたこともあるのですが、種類が増え過ぎだで（泣）。さらにさらに、つい先日地元の新聞で、初めて二十世紀梨の原木を御神体にお祀りしている神社「木乃実（このみ）神社」という神社があることを知りました。

ビッククリ！ビッククリ！！驚きの梨ワールドです。鳥取の梨をどうぞこれからも愛してやつてくださいね♥

つてなことで、ほな、今日もぼちぼち見てつかあさいな。

## 【応募作品一覧】

- ◆ 梨食えば 縁も深まる 秋日和（P・N琥珀）
- ◆ 幼い日 コスマスに似た 淡い恋（P・Nむこう）
- ◆ プロポーズ せよと梨狩り 合図する（P・N則くん）
- ◆ 梨かじる 白き歯まぶし 恋予感（P・Nたかぽこ）
- ◆ 見るものを 笑い話に 変える恋（P・Nタンポポ）
- ◆ 恋するものを もつと知りたい 話したい  
(P・N銀にいちやん)
- ◆ 梨と僕 1つの梨と にらめっこ（P・Nワタミツ）
- ◆ 好きだから 話し方まで 真似をする（P・N鬼小町）
- ◆ 年老いて 会話も弾む 介護話（P・Nよつは）
- ◆ あの二人 はなし（話）はすでに ついており  
(P・N小星)
- ◆ 恋に落ち 旅行のつもりへ ラ・フランス（梨の仲間な  
ので）（P・Nニヨッキ）
- ◆ 梨を食べ あなたと笑顔 いつまでも（P・N花月）
- ◆ 梨狩りに 誘い射止めの 準備する  
(P・N京のみっちゃん)
- ◆ あなたとの うまい話は なしだけに（P・N木立慈雨）
- ◆ 当たられて いなした恋を 追いかける（P・N琴音翼）
- ◆ 将来の 話しのさなか プロポーズ（P・N竹子デラックス）
- ◆ 貴方つて 水も滴る 梨のよう（P・N竹子デラックス）
- ◆ 心なし 父に似て いる 彼に恋（P・Nバディトム）
- ◆ 好きなのに 梨の礫の 片想い（P・Nおさぼう）
- ◆ 恋すると 秋風の中 心飛び 三十年（P・Nあおい）
- ◆ メールして 梨のつぶても 慣れました  
(P・Nよつたんぼうや)

◆ 道の駅 話しかけから 恋芽生え（P・N 臨海和笑）

◆ あなたへの 想いは今も 変わりなし（P・N おーさん）

◆ 梨食べへて 二人で恋の いい話（P・N 酒乱Q）

◆ お土産は なしでいいのよ あなただけ（P・N まるちゃん）

◆ もうあなた 無しの人生 なんてない（P・N みぢんこ）

◆ あなたへの 想いは今も 変わりなし（P・N おーさん）

◆ 梨狩りで 同時に触れた 指にドキッ！

◆ お土産は なしでいいのよ あなただけ（P・N 仁）

◆ なし崩し 妻に財布を 握られる（P・N 駒ヶ根権兵衛）

◆ お土産は なしでいいのよ あなただけ（P・N 仁）

◆ 初恋は 二十世紀の セピア色（P・N らくちゃん）

◆ あなたへの 想いは今も 変わりなし（P・N 仁）

◆ もう歳や 相手を見つける 策はなし

◆ あなたへの 想いは今も 変わりなし（P・N 仁）

◆ 紅葉に 負けぬ想いの 色をつけ

◆ あなたへの 想いは今も 変わりなし（P・N 仁）

◆ 話尽き ただ見つめ合う 初デート

◆ あなたへの 想いは今も 変わりなし（P・N 仁）

◆ 梨をむく そんな家内に 惚れ直し（P・N 澄海）

◆ あなたへの 想いは今も 変わりなし（P・N 仁）

◆ 食べごろの 張りと色合い 今はナシ

◆ あなたへの 想いは今も 変わりなし（P・N 仁）

◆ L o v e · P e a r やがて2人は ペアレント

◆ あなたへの 想いは今も 変わりなし（P・N 仁）

◆ プラチナの 梨地にダイヤ 愛を込め（P・N 岩窟王）

◆ あなたへの 想いは今も 変わりなし（P・N 仁）

◆ 悲しみも 会えば喜び それだけで（P・N せんちゃん）

◆ あなたへの 想いは今も 変わりなし（P・N 仁）

◆ うるおいは 梨の雫と 二人連れ（P・N 曲者）

◆ あなたへの 想いは今も 変わりなし（P・N 仁）

◆ 恋人へ おもてなし 梨で おもてなし（P・N 狼と羊）

◆ あなたへの 想いは今も 変わりなし（P・N 仁）

◆ 旅人に もぎたて梨で おもてなし（P・N 憤ちゃん）

◆ あなたへの 想いは今も 変わりなし（P・N 仁）

◆ 悲しみも 会えば喜び それだけで（P・N せんちゃん）

◆ あなたへの 想いは今も 変わりなし（P・N 仁）

◆ ひらがなの 風がささやく 恋い話し（岡山市）

◆ あなたへの 想いは今も 変わりなし（P・N 仁）

◆ 恋文へ 結婚の語が 書いてなし（岡山市）

◆ あなたへの 想いは今も 変わりなし（P・N 仁）

◆ 梨食いて 故郷の秋を 思い出す（P・N 金砂郷の鴨ちゃん）

◆ あなたへの 想いは今も 変わりなし（P・N 仁）

◆ 愛してる 彼の実家は 梨農家 (P・Nよし得)

◆ 紅葉萌え 恋するひとみ ハラハラと (P・Nノリピー)

◆ 梨畑け 悲恋の数多 知る蛙 (前川 稔)

◆ 室生寺に 二人並んで 秋さがし (P・Nれんこ)

◆ 好き！嫌い！ごめんなさいね コスモスさん

◆ 秋夜長 親しき友と 艶話 (P・N澤 磨育)

(P・N八十日目)

◆ 逢ったのに なしのつぶてで 去ったひと

◆ お隣に 梨さしいれて 茶をよばれ (P・N花咲き夢子)

(P・Nはぐれ雲)

◆ 落葉に 恋の行方の 予感して (P・N土呂小町)

◆ 横恋慕 軽くいなして 添い遂げる (P・N尼の政爺)

◆ 秋夜長 女ごころを 測りかね (P・N水川の杜)

◆ 初恋が 友へ気移り なし崩し (P・N初恋)

◆ 梨食べて 程よく冷やす 夏の恋 (P・Nきなえ)

◆ 恋に落ち 紅葉 (もみじ) も 重なり合う季節

◆ 恋食へて 程よく冷やす 夏の恋 (P・Nきなえ)

◆ 恋に落ち 紅葉 (もみじ) も 重なり合う季節

◆ 恋食べて 程よく冷やす 夏の恋 (P・Nきなえ)

◆ 恋に落ち 紅葉 (もみじ) も 重なり合う季節

◆ 恋みっこ ナシで別れる 苦でした (P・N海峡ちどり)

◆ 恋に落ち 紅葉 (もみじ) も 重なり合う季節

◆ 恋みっこ ナシで別れる 苦でした (P・N海峡ちどり)

◆ 恋に落ち 紅葉 (もみじ) も 重なり合う季節

◆ 北の恋 残り火煽る ナナカマド (P・N茜雲)

◆ 恋に落ち 紅葉 (もみじ) も 重なり合う季節

◆ 梨園より 嫁ぎたいのは 梨農家 (P・Nおよよ)

◆ 恋に落ち 紅葉 (もみじ) も 重なり合う季節

◆ 頬いっぱい 梨に隠れる 孫の顔 (P・Nやまちゃん)

◆ 恋に落ち 紅葉 (もみじ) も 重なり合う季節

◆ 君と梨 五感うるおし 愛芽生え (P・N遠夢乞D)

◆ 恋に落ち 紅葉 (もみじ) も 重なり合う季節

◆ 立候補します 指輪が なしならば (P・N吉備彦)

◆ 恋に落ち 紅葉 (もみじ) も 重なり合う季節

◆ 後腐れ なしにしようと 削除する (P・N PON5)

◆ 恋に落ち 紅葉 (もみじ) も 重なり合う季節

◆ カップルを ストーカーする 赤とんぼ (P・Nナツツとピュア)

◆ 恋に落ち 紅葉 (もみじ) も 重なり合う季節

◆ 恋ごころ 梨を重石に 置き手紙 (P・Nえちご人)

◆ 恋に落ち 紅葉 (もみじ) も 重なり合う季節

◆ 梨むけば 子が取り合って 親はナシ (P・Nティカリ)

◆ 恋に落ち 紅葉 (もみじ) も 重なり合う季節

◆ 恋ごころ 梨を重石に 置き手紙 (P・Nえちご人)

◆ 恋に落ち 紅葉 (もみじ) も 重なり合う季節

◆ 新婚の 気分梨の 瑞瑞し (P・Nクジラ)

◆ 告白を 台無しにする 腹の虫 (P・Nピコタン)

◆ しゃきしゃきと 齒切れが良いね 君と梨

(P・Nみやんくん)

◆ 空っぽな 心震わす こいなっしー (恋無っしー)

(P・Nとりびあの)

◆ 齒無しには ならぬと言った 母8020 (P・N策々)

◆ 梨を見て 秋より先に ゆるキャラが

(P・Nおもろ太郎)

◆ ペアルック 買って着たいが 度胸なし

(P・Nのんのん)

◆ あふれ出る 梨の果汁と 恋心 (P・Nジュワジュワ)

◆ 君の肩 そっと触れるや 赤とんぼ

(P・N長男ヒロタン)

◆ 名月に 2人行く先 見透かされ (P・N青メダカ)

◆ おもてなし? うらはあつたよ 我が家には (吹田市)

◆ 神神も 鳥取梨を 提げ出雲 (兵庫県)

◆ 悲しみを 月の兔に 癒される (P・N矢車草)

◆ 天高く 齧ればジューシー 梨の香が (瀬戸内市)

◆ ゲンかつぎ 梨を有りの実と 呼ぶ地方あり

(P・N明拓)

◆ 勘違い 秋の果物 ふなっしー (P・Nふあんのん)

◆ 瑞々しさ 薫る思春期 恋話 (P・N白梅)

◆ 成しとげし この梨に勝る 味は無し (P・Nヒメ父)

◆ 梨送り 愛してるよと 碓待つ (P・N充兵衛)

◆ 義務のように デートをこなし 倦怠期 (P・N紫苑)

◆ 梨狩りの デートでふられて 渋いなしに

(P・Nよこちょ)

◆ 梨の花と 呼ばれし君に 恋をして (P・N松の実)

◆ 梨食 (は)みつ 昔語りや 齒無しジジババ

(P・Nこうちゃん)

◆ けなしあい いつの間にやら 恋仲に

(P・Nきんちゃん)

◆ 今夜なに?、サンマと梨に、胸躍る (P・N4人のパパ)

◆ おもてなし する人もなし 暇もなし

(P・N完熟きのこ)

◆ 老いらぐの 恋は枯葉の ラブレター (P・N船岡五郎)

◆ 完熟は まだ選ばない 梨と恋 (P・Nチデンシンヤ)

◆ 梨を食み 祖母が初恋 語りだす (P・Nだー)

◆ 好き好き好き 言わなきや卒業 待ったなし

(P・Nザノピス)

◆ 会いましょネ なして嘘つき 気を持たず

(P・N暮色の天使)

◆ ここだけの 話しと言えば すぐ回り (P・Nオウム)

◆ 燃えています もみじも君も 恋の秋 (P・Nふつきー)

◆ 待ち合わせ 風まで甘い 梨畠 (P・Nかたおもい)

◆ 古希迎え わたしの想い なしくずし

(P・Nたっちゃん)

◆ 失恋の 和だけ落ちた 散り紅葉 (P・Nミール)

◆ 梨を手に 家来ててくれた 初の恋 (P・N梅尾芭蕉)

◆ 底なしに あなたに惚れた 僕がいる (P・Nもりとん)

◆ 定年の 祝いに洋梨 贈られる (P・N湯たんぽ)

◆ 秋深く 大人の恋の 色となる (P・Nかきくけ子)

◆ 宛名なし 恋文返送 ふがいなし (P・Nかとゆき)

◆ 面白抜け 円熟の恋する 紅葉 (P・Nせちい)

◆ 宛名なし 恋文返送 ふがいなし (P・Nせちい)

◆ 頑張れと 母の文には 書いてなし (P・Nカトレア)

◆ もうわたし あなたなしでは 暮せない (P・N習作)

◆ さわやかに 告白された 梨の頃 (P・Nカトレア)

◆ 梨の皮 きれいに剥ける 君に惚れ (P・Nヒヂヒヂ)

◆ 返事なし 既読で分かる 子は元気 (P・Nあーきまま)

◆ 僕とパパ ママに内緒の 話増え (P・Nあーきまま)

◆ 食えるだけ 食つてトンずら そりやなしよ

(P・N蛙屋 柳斎)

◆ 秋の夜 恋の話で 盛り上がる (P・Nねこママ)

◆ いい話らしいね 幸せのオーラ (P・Nかぐや姫)

◆ 太っても 私のキモチに 変動なし (P・Nまるちゃん)

◆ アリナシは 付き合ってから 決めてくれ (P・Nまる)

◆ 秋の日が 離れたくないと 叫んでる

(P・N昔のおじさん)

◆ 秋風が 吹いても熱い 恋心 (P・Nマロン)

◆ 梨つめる その身のこなし 一流よ (P・Nとうふ)

◆ その話 ゆうべ聞いたと 孫は逃げ (P・N二三子)

◆ どっしりと 座っています 梨ひとつ (P・N雪子)

◆ 恋してる 梨もハートに 切つてみる (P・Nこばんだ)

◆ 木枯らしに ふたりで歩む 恋の道

(P・Nラツシュアワー)

◆ 溢れだす 梨の果汁と 恋心 (P・Nいもねーちゃん)

◆ 秋の夜の 一番星に 願い込め (P・N小林番茶)

◆ 移りあう 君と僕との 話し方 (P・N鼓吟)

◆ ハロウィンの 仮装でそっと 手を握り

(P・N橘 舞衣)

◆ 落ちる葉が 君に贈った 髪飾り (P・N相澤 龍次)

◆ 話し下手 私の沈黙 聞く人よ (P・Nちょろ)

## 【番外編】

◆ こっち来い そんなこいでも 恋のうち

(P・N木立慈雨)

◆ 初恋は 執恋になり 終恋となる (P・Nいちごちゃん)

(P・N木立慈雨)

◆ そのイイね 好きと解釈 してる俺 (P・N銅男)

(P・Nカナ)

◆ 大声で 泣ける理由は あなただけ (P・Nカナ)

◆ まちぶせが 時代遅れの 僕に合う (P・Nふじさん)

(P・Nふじさん)

◆ 「愛してる」 処方より効く いいクスリ

(P・Nミニロック)

◆ 今どこに 第二ボタンと おさげ髪 (P・Nナフタリン)

(P・Nナフタリン)

◆ 『好き』 と言う！ 最強に効く おまじない

(P・Nきみどりさん)

◆ 初恋で 生涯閉じる キリギ里斯 (P・N名残)

(P・N名残)

◆ 百歳へ やっぱり君が 好きと言う (P・Nタクノ)

(P・Nタクノ)

◆ 勇気だし 伸ばしたその 空を切り (P・Nタクノ)

(P・Nタクノ)

◆ 本気なら 駆け引きなんて してられない

(P・Nこにげ)

◆ ぷちぷちと あまく弾ける 恋心

(P・Nすふいんくす)

◆ 恋すれば 朝晩も 恋恋恋 (P・Nやちん)

(P・Nやちん)

◆ 君を見て 月と一緒に 赤くなり (P・Nゆうと)

(P・Nゆーさん)

◆ 今日あると 薬指まず うふふ笑み (P・Nゆーさん)

(P・Nゆーさん)

◆ あとの人の 夢にも私が 出るのかな？ (P・Nピノコ)

(P・N京のみっちゃん)

◆ 恋心 お百度踏んで 実らせる (P・N京のみっちゃん)

(P・N京のみっちゃん)

◆ まだ僕は 君の全てに 惣れている (P・N小田慶喜)

(P・N小田慶喜)

◆ 少しだけ 欠点のある 君が好き (P・N小田和子)

(P・N小田和子)

◆ 鳥取の 恋人買いに かわはらに (P・Nひろっさん)

(P・Nひろっさん)

◆ 体育着で ミキシングする 恋ダンス

(P・Nのろまのろまん)

◆ 高き空 流るる雲と 君想う (P・Nまるちゃん)

(P・Nまるちゃん)

## 【特別賞】

◆ 女子の旅 恋の話で 夜は更ける (P・N枕投げ)

(P・N枕投げ)

◆ 『一言』逆に男の旅って、何話すんだろ？気になるも。

(P・Nさくら子)

◆ 恋に歳 無しと言いつてる 妻怪し (P・Nもくず)

(P・Nもくず)

◆ 『一言』いつまでも若くありたいものです。色々と

(P・Nもくず)

◆ 『一言』はあ鬼ちゃん ふなっしーには なびかない

(P・N鬼ちゃん)

◆ 『一言』弟の嫁はますます強くなりましたけどね(苦笑)。

(P・N弟の嫁)

◆ 『一言』おもてなし うらもなし だから君が好き

(P・Nおもてなし)

◆ 『一言』梨をむく 皮の厚さに 彼女照れ (P・Nヒデジ)

(P・Nヒデジ)

◆ 『一言』そのまんまの君が好きって、あなたイイ人ね。

(P・Nまんま)

◆ デパ地下で 彼女と秋を 丸かじり（P. N.たまりゅう）  
『一言』秋のデパ地下って、なんだかとつても魅力的♥

◆ 壁ドンも するり抜けられ 立つ瀬なし  
（P. N.ちいじじ）  
『一言』「壁ドン」かあ…ないなあ。会社休んでいい？

◆ 壁ドンも するり抜けられ 立つ瀬なし

by. KISAKI HIMEKO  
(郷土神話観光  
コーディネーター  
★)

この秋の川柳にも時々登場していた「ふなっしー」ですが、道の駅清流茶屋かわはらでもついに！マスコットキャラクターがお目見えすることになりました～(^^\)／＼昨年的一般公募で決定したところだったのですが、こんなにも駆け足で着ぐるみまで完成できてしまうとは…言い出しちゃった企画者もビックリなっしー！！（もういいって。苦笑。）来年からまた忙しくなるつての(-\_-;) いえいえ、ありがとうございます。11月終わりの三連休には、新キャラ『はあ兎(と)ちゃん』の着ぐるみお披露目会がありますので、またレポートしま～す

◆ 以上十名様には秀句として、鳥取県智頭町在住のイラストレーター澤田直見さんの田舎暮らしから生まれた素敵なメッセージが散りばめられた「うさぎとかめのふたりごと」絵はがき3枚セットをお贈りします。また、今回も優秀な作品が多く、惜しくも特別賞に届かなかつた次の三名の方の作品も、プチ特別賞としまして、ケヤキ製のしおりをお届けします。

◆ 梨もぎで 手と手触れ合う 初デート  
(P. N.ハナヒミル)

◆ 枯葉踏む 二人の足音 会話する (P. N.首里んちゅ)

◆ 頬染めて 2人見つめる 田の案山子  
(P. N.チュン子すずめ)

なお、紙面のスペース上、多数にわたるご応募の方につきましては、一句のみ掲載させて頂いております。悪しからずご了承ください。また、作品にペンネーム（P. N.）の付していないものについては、宛先のみご紹介させて頂いています。

また、抽選の結果発表については、発送をもつて代えさせて頂きます。次回の【冬】「恋する川柳」編は十二月に募集しますので、お見逃しなく☆

※以上十名様には秀句として、鳥取県智頭町在住のイラストレーター澤田直見さんの田舎暮らしから生まれた素敵なメッセージが散りばめられた「うさぎとかめのふたりごと」絵はがき3枚セットをお贈りします。また、今回も優秀な作品が多く、惜しくも特別賞に届かなかつた次の三名の方の作品も、プチ特別賞としまして、ケヤキ製のしおりをお届けします。

◆ 梨もぎで 手と手触れ合う 初デート  
(P. N.ハナヒミル)

◆ 枯葉踏む 二人の足音 会話する (P. N.首里んちゅ)

◆ 頬染めて 2人見つめる 田の案山子  
(P. N.チュン子すずめ)

なお、紙面のスペース上、多数にわたるご応募の方につきましては、一句のみ掲載させて頂いております。悪しからずご了承ください。また、作品にペンネーム（P. N.）の付していないものについては、宛先のみご紹介させて頂いています。

また、抽選の結果発表については、発送をもつて代えさせて頂きます。次回の【冬】「恋する川柳」編は十二月に募集しますので、お見逃しなく☆

## 「地域の学び舎・水辺の学縁マスコットキャラクター」の決定について

よろしくお願いします！  
はあ兎ちゃんです。

現在、道の駅清流茶屋かわはらでは、より地域に根付いた道の駅を目指すため、地域と地域、人と人との縁を広く結んでいく「地域の学び舎・水辺の学縁」プロジェクトを進めています。「地域の学び舎・水辺の学縁」では、ものづくりを学ぶ「ゆるゆる田舎塾」や社会見学ツアーを中心の「いなばスローツーリズム交流会」など、5つのプログラムを計画しています。そこで、「地域の学び舎・水辺の学縁」が、教室やツアーを通じて地域の人材や観光資源の魅力を地域内外に発信し、より親しみやすい交流の場となるよう、このたび学縁のアイドルとして活動と一緒に盛り上げてくれるマスコットキャラクターが決定いたしました！今後は、「地域の学び舎・水辺の学縁」のマスコットキャラクターとして採用し、学縁のアイドルとして、広報紙やホームページ、イベントなどに活用してまいります。

### 作品の説明

縁結びをイメージして作った女の子です。着物の水色の模様に混じってうさぎがいます。そのうさぎが幸せを運んでくれる様子を描きました。千代川の川の流れに縁結びの女神の八上姫、因幡の白うさぎ、すべての要素が上手に取り込まれていた点が採用ポイントになりました。愛称については、女の子のチャームポイントのひとつになっているハートの髪飾りに着眼したものでしたが、多くの人々の縁結びの役目を担う女の子が、これから広く皆様に愛されるキャラクターとなっていくよう願いが込められている点を評価させて頂きました。

